

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座、教授
氏名 Name	川北(安生)恭子
専門分野 Academic Field	フランス語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フランス語連結詞
<p>1. フランス語連結詞研究の一環として、「En tout cas について—先行談話の不確かさとその処理をめぐって—」（『Luèce』43号 2016年12月大阪市立大学フランス文学会発行）を執筆した。本論文では、先行研究を整理し、その中で言及されている「不確かさ」の現れ方とその処理の仕方に焦点を当て、実例分析と考察を行った。その結果、先行談話内に主体が主観的に「不確か」と捉える要素が存在し、その不確かさから複数の事態が想定されうるということを述べた。そして、不確かさの処理の仕方については「共通化」と「保留」があると仮説立てた。更なる実例分析によりこの仮説を検証するとともに、他の類似する連結詞との関係を構築することが今後の課題である。</p> <p>2. フランスの小学校における国語教育に関して、実際の教科書および教師用手引書を参照しながら、特に文法面の習得内容や習得方法を中心に検討した。まだ検討・考察段階であり、論文にするには及ばなかった。</p>	